

白保魚湧く海保全協議会 平成30年度 活動報告書



2019.3.14 作成

日付	活動	概要	備考
5/8	白保中2年 環境教育支援	生徒:18名 実施:3名 座学 サンゴ礁学習 クラス授業	実施: 当会 連携: NPO夏花
5/15	白保中2年 環境教育支援	生徒:18名 実施:3名 白保集落内 散策	
5/22	白保中2年 環境教育支援	生徒:18名 実施:7名 プールでのシュノーケリング技術指導	
5/25	白保中2年 環境教育支援	生徒:18名 総合学習の時間 実施:8名 白保海域でのシュノーケリング実習 生物観察	
5/27	白保青年会員環境学習	参加:8名 青年会員 船着き場東屋にてサンゴレクチャー(座学)、と白保海域でのシュノーケリング実習	主催: 当会
5/31	赤土堆積量調査(春季)	参加:6名 白保海域30箇所。SPSS法による海底の赤土の堆積量を測定	実施: 当会 連携: NPO夏花
6/1	第1回 海岸清掃 フタナカ海岸	参加:7名	主催: 当会
6/1	白保海中清掃	実施:4名 海中に漂着した大型タイヤの引き上げ(100kg以上)	主催: 当会
6/30	海岸清掃 白保海岸	海岸に漂着ゴミの撤去 海上保安庁、WWFジャパン、NPO夏花、しらほこどもクラブ	主催: 石垣海上保安庁
7/1	第2回 海岸清掃 フタナカ海岸	参加:13名	主催: 当会
7/5	白保小6年 環境教育支援	生徒:18名 実施:2名 座学 サンゴ礁学習 クラス授業	実施: 当会 連携: NPO夏花
8/1	第3回 海岸清掃 フタナカ海岸	参加:17名	主催: 当会
9/1	第4回 海岸清掃 フタナカ海岸	参加:22名 燃やすゴミ 3袋、燃やさないゴミ 23袋、ペットボトル 19袋(約950本)、発泡スチロール(袋)7袋、発泡スチロール(個)1個、漁具(袋)6袋、漁具(個)20個、ロープ(袋)、ロープ(かたまり)約20kg、ビン 5袋、カン 1袋、危険物 1袋、電球、蛍光灯 1袋、ワレモノ 1袋、プラスチックのタンク 1個、プラスチックのカゴ 1個、木片(大)2個、ガスボンベ 2個、ウレタン片(大)1個、タイヤ 3個、一斗缶 1個、ドラム缶 1個	主催: 当会
9/10	赤土堆積量調査(夏期)	参加者:8名 実施:3名 アースウォッチ・ジャパン「赤土堆積量と流出対策の長期モニタリング」における研究者との協働(ツアー赤土調査と同時開催)	実施: 当会 連携: NPO夏花 協働: アースウォッチ・ジャパン
9/10	講話	参加:20名 清泉女子大学 船着き場の東屋で白保のサンゴについての講話	実施: 当会 連携: ちゅらねしあ 八幡
9/12	白保中2年 環境教育支援	生徒:18名 実施:4名 コーラルウォッチ サンゴの健康調査	実施: 当会 連携: NPO夏花
9/14	白保小6年 環境教育支援	生徒:18名 実施:5名 プールでのシュノーケリング技術指導	
9/18	サンゴ調査	実施:4名 定位置でのサンゴの状態(被度と種類)を知る測線調査	主催: 当会 協力: WWFジャパン
9/21	白保小6年 環境教育支援	生徒:18名 実施:7名 海洋でのシュノーケリング実習 生物観察	実施: 当会 連携: NPO夏花
9/22	白保海岸清掃 船着場から北側	参加:7名 実施:5名 もえる1袋、もえない5袋、ペットボトル3袋、発泡スチロール2袋、漁具2袋、ロープ1袋、ビン1袋、カン1袋、われもの1袋、電球1袋、キケン1袋、パイ大7個、発泡大3個、漁具大3個、プラケース1個、ロープ150キロ	主催: 当会/NPO夏花 (観光交流協会より委託)

10/1	第5回 海岸清掃 フタナカ海岸	参加:16名 ペットボトル9袋、燃えないゴミ12袋、漁具 3袋、ロープ 2袋、発泡スチロール7袋、燃えるゴミ 2袋、ビン 1袋、カン 1袋、危険物 1袋、電球 1袋、ブイ大 1個、ブラケース 1個、発泡漁具 5個、ガスポンベ 3個	主催: 当会
11/8	第6回 海岸清掃 フタナカ海岸	参加:16名 燃えるゴミ 2袋、燃えないゴミ 14袋、ペットボトル 22袋、発泡スチロール11袋、漁具 2袋、ロープ 2袋、ビン 3袋、カン 1袋、キケンゴミ 1袋、蛍光灯、電球 1袋、われもの 1袋、発泡スチロール大10個、ブイ大4個、ポリタンク大4個、ウレタン大4個、便座1個、カン大1個、プラスチック棒大4個、ロープかたまり15キロ	主催: 当会
11/10	赤土堆積量調査(秋季)	実施:7名(うち青年会2名、高校生1名) 白保海域30箇所。SPSS法による海底の赤土の堆積量を測定	実施: 当会 連携: NPO夏花
12/1	第7回 海岸清掃 フタナカ海岸	参加:20名 燃えないゴミ 12袋、燃えるゴミ 2袋、ペットボトル 22袋、漁具 3袋、ロープ 2袋、発泡スチロール10袋、ビン 2袋、電球 1袋、キケン 1袋、カン 1袋、発泡スチロール大 11個、ブイ大 9個、ポリタンク 2個、ブラケース 5個	主催: 当会
1/6	第8回 海岸清掃	荒天のため中止	主催: 当会
1/24	赤土堆積量調査(冬季)	実施:6名 白保海域30箇所。SPSS法による海底の赤土の堆積量を測定	実施: 当会 連携: NPO夏花
2/1	第9回 海岸清掃 フタナカ海岸	参加:12名 燃えるゴミ 2袋、燃えないゴミ 8袋、漁具 1袋、発泡スチロール 16袋、ペットボトル 15袋、ビン 3袋、カン 1袋、電球 2袋、キケン物 1袋、ブイ大 4個、発泡スチロール 大21個、ブラカゴ大、パイプ 大1本	主催: 当会
2/19	白保中2年 環境教育支援	生徒:18名 実施:1名 1年間の環境学習のまとめ	実施: 当会 連携: NPO夏花
2/26	白保中2年 環境教育支援	生徒:18名 実施:1名 1年間の環境学習のまとめ	
3/1	第10回 海岸清掃 フタナカ海岸	参加:14名 燃えるゴミ 2袋、燃えないゴミ 11袋、発泡スチロール 7袋、ペットボトル 17袋、漁具 3袋、電球 1袋、ビン 2袋、カン 1袋、キケン 1袋、割れ物 1袋、発泡スチロール 大13個、ブイ大4個、プラ 大6個、木の板 大1枚、クーラーボックス 1個、ロープ 1盛	主催: 当会
3/3	白保中2年 環境教育支援 発表 サンゴ礁ウィーク	生徒:18名 実施:2名 地域住民と観光客に向けた学習発表の機会を提供 会場:しらほサンゴ村 白保日曜市にて	実施: 当会 連携: NPO夏花

サンゴ礁文化の保全・継承をめざして

白保魚湧く海保全協議会は、白保の海とその周辺の自然環境・生活環境の保全・再生とサンゴ礁資源の持続的な利用による地域振興の両立を図ることを目的とし、2005年に設立。なお、本会はあくまでも白保サンゴ礁環境の維持・向上とその利用による白保地域の活性化を目的としたものであり、政治的活動を目的とするものではない。

白保魚湧く海保全協議会
代表 新里昌央



白保中2年 総合学習の時間
地域の海について知る機会の提供



白保中2年 総合学習の時間
地域の海について知る機会の提供



フタナカ海岸清掃
この日の参加者は20名



サンゴ側線調査
26% → 6% → 11% (2002年・10年・18年)
サンゴが覆う割合に回復が見られた



海底の赤土堆積調査
白保海域30箇所を採取



海底の赤土堆積調査
SPSS法にて数値化 年4回実施